

すべての被爆者の原爆症を認めよ！

- ビキニ事件 54周年広島集会 -

日時 2008年3月1日(土) 午後 時 10分開場 時 30分開始

場所 広島県健康福祉センター 小会議室

カンパ 500円

テーマ 労働者階級の解放と被爆者の解放
被爆者の闘いと「原爆症認定基準」

主催 反戦被爆者の会 全国被爆者青年同盟 小西のぶ子記念館
連絡先 広島市西区草津東325 TEL 082-271-7895

日本政府による「原爆症認定基準」の見直し作業が行なわれており、本年4月から新しい基準で認定がなされようとしている。この新しい基準においても認定されない被爆者が数多く出ると予想される。被爆者が求めているのは、国家の戦争責任に基づく国家賠償である。国家賠償は無条件でなければならない。これまで「原因確率」によって僅か1%しか認定されていなかったのが10%になるという。たった10%！残りの90%は切り捨てか。被爆者の新たな分断である。昨年3月、放影研は「被爆2世健康調査」で「被爆2世に親の被爆の影響は見られない」と被爆2世を切り捨てた。被爆者が死滅することによって「被爆問題は終わった」とするのか。断じて許せない。すべての被爆者の原爆症を認めよ！

六ヶ所村核燃料再処理工場の本格稼働、核兵器用プルトニウム製造工場「もんじゅ」の再稼働など日本の核武装に向けた策動が進む一方、迎撃ミサイルPAC3の配備と実戦訓練、国民保護計画による核攻撃に対する準備など核戦争の準備が進められている。また、NATOはイランに対する核先制攻撃を示唆し核戦争の危機が高まっている。本年初頭からの世界的な金融危機は世界の帝国主義が後戻りできない危機に直面し世界革命の情勢が急接近していることを示している。被爆者が求めることが実現できる時代が来たのだ。今こそ世界の被爆者、2世・3世は労働者階級の闘いと結びつき核と戦争のない世界を実現しよう

3・16ビキニ事件とは：

1954年3月1日、マグロ漁船第五福竜丸がアメリカの水爆実験による死の灰を浴び乗組員全員が被爆し急性放射線障害を起した。久保山愛吉が死亡し他の乗組員もすでにすでに多くの者が亡くなっている。日本政府はビキニ事件と引き換えにアメリカから原子炉を導入し、核開発を開始した。

会場所在地 広島市南区皆実町1-6-29

会場電話 : 082-254-7111

バス : JR広島駅から旭町行比治山橋バス停下車 4分

県庁前から大学病院行皆実町一丁目バス停下車 3分

路面電車 : JR広島駅から南区役所前下車 2分

